

自主防災隊長・自主連合防災隊長へお願いする事項について

提出書類 ※ P 番号については 資料 3「袋井市総合防災訓練様式作成例集」参照	提出先	提出期限
P 1 「袋井市総合防災訓練」訓練計画書	自主防災隊長 ⇒ 自主連合防災隊長	8 月 8 日（金）
	自主連合防災隊長 ⇒ 市	8 月 15 日（金）
P 2 班別安否確認シート（様式 8-3）	班長 ⇒ 自主防災隊長	8 月 31 日（日）集計終了次第
P 3 自治会安否確認シート（様 8-4）	自主防災隊長 ⇒ 自主連合防災隊長	8 月 31 日（日）集計終了次第 ※集計が間に合わなかった場合 9 月 12 日（金）
P 4 被害状況報告書（自主防災隊用） （様式 8-2）	自主防災隊長 ⇒ 自主連合防災隊長	8 月 31（日）10 時 30 分
P 5 訓練参加者報告書		
P 6 市指定避難所への避難人員報告書 （様式 8-1）		（市指定避難所への避難訓練を実施する場合） 8 月 31 日（日）10 時 30 分
P 7 「袋井市総合防災訓練」実施結果報告書	自主防災隊長 ⇒ 自主連合防災隊長	9 月 8 日（月）
	自主連合防災隊長 ⇒ 市	9 月 12 日（金）
P 8 「総合防災訓練用」水消火器借用申請書	自主防災隊長⇒市	8 月 8 日（金）

◆訓練当日まで

No.	項 目	内 容
1	自治会の住民へ訓練参加の呼びかけ	チラシなどによる訓練参加の呼びかけ 班長会議やチラシの班内回覧などにより、訓練の実施日や内容について、地域住民へ参加を呼びかけてください。
2	家庭内及び自治会での安否確認方法の確認【重点1】	(1) 当日の安否確認実施方法の確認を依頼 今回から、安否確認の方法を見直していることから、各自治会において、班長への説明など、様式の事前の準備や、当日の実施方法などの確認をお願いします。 ※安否確認の方法につきましては、すでに黄色のタオルや旗、避難者カード、安否確認カードなど実施されている場合は、これまでの方法でお取り組みください。 また、災害用伝言ダイヤル【171】、災害用伝言板【WEB171】の活用など、各家庭内での安否確認方法について事前に決めておくことが大切です。 本訓練において実施してみるなど、周知啓発をお願いします。 (※資料4：P14～15 ページ参照) (2) 備蓄品や非常持出品の準備の確認を依頼 水やトイレなど1週間分の「災害用備蓄品」や、「非常持ち出し品」の準備がされているか確認をお願いします。 ※訓練当日は班単位の集合場所において、非常持ち出し品の携行者を確認し、携行していない場合は、非常持ち出し品の必要性を周知啓発してください。

◆訓練当日①（自主防災隊【住民】の訓練）

No.	項目	内容
1	サイレン吹鳴後（午前9時）	発災直後の身を守る行動の実施 身を守る行動（低く、頭を守り、動かない）の後、自主防災隊役員は、各自自治会の活動拠点に参集し、自主防災隊の災害対策本部として訓練を実施してください。
2	住民の安否確認及び情報伝達の訓練【必須】 【重点項目（1）】	（1）安否状況のとりまとめ及び報告【班長】 班長は、班員から報告のあった安否状況を取りまとめ、様式第8－3号（資料3：P2参照）により、自主防災隊長へ報告してください。 （2）非常持出品携行者、災害用備蓄品準備者、家具固定世帯の調査【班長】 非常持ち出し品を携帯している人数、災害用備蓄品を準備している世帯数、家庭内の家具等を固定している世帯数を合わせて報告してください。 （3）安否状況のとりまとめ及び報告【自主防災隊長】 自主防災隊長は、班長から報告された安否状況を取りまとめ、<u>集計後</u>、様式第8－4号（資料3：P3参照）により<u>自主連合防災隊本部（自主連合防災隊長など）</u>へ報告してください。 （4）訓練参加者の報告 自主防災隊長は、自主防災隊の訓練会場に参加した人数を訓練参加者報告書（資料3：P5）にとりまとめ、<u>自主連合防災隊本部（自主連合防災隊長など）</u>へ報告してください。 ※ 今回の訓練から、様式を変更しています。お間違いがないようにご注意ください。

3	命を守るための <u>72 時間以内</u> に必要な訓練の実施 【重点項目（2）】	発災から 72 時間以内の身を守る行動の実施 人命救助のタイムリミットである発災後から「72 時間」までに必要な避難行動、安否や被害状況の確認・報告、応急救助、避難所開設などの訓練を実施してください。（訓練項目については、資料 4：P 5～6 参照）
4	地域の事情に合わせた訓練の実施	津波避難訓練や土砂災害防災訓練など、 <u>地域が抱える事情に対する訓練</u> の実施もお願いします。（訓練項目については、資料 4：P 1～4 参照）
5	平時からの備え（事前防災）の状況調査及び啓発	(1) 非常持ち出し品携行者数及び家具固定等の調査【必須】 「令和 7 年度「袋井市総合防災訓練」実施結果報告書」（資料 3：P 13 参照）の記入欄へ ・非常持ち出し品を持ってきた人数を記入してください。 ＜参考＞令和 6 年度 9,373 人 ・災害用備蓄品を準備している世帯数を記入してください。 ＜参考＞令和 6 年度 14,384 世帯 ・家庭内家具等固定を実施済の世帯数を記入してください。 ＜参考＞令和 6 年度までに 10,834 世帯が申請 ※＜参考＞は、R 6 地域防災訓練の結果 ※ 班単位の安否確認訓練の参加者に、挙手など簡易的な聞き取り調査をお願いします。

(2) 「メローねっと」登録の推進【必須】 (資料5①、⑪参照)

市の災害情報や同報無線放送の内容等をメールやライン(文字)で受け取ることができます。

災害時の情報収集手段として大変有効なツールである「メローねっと」の登録の推進をお願いします。

<参考>登録件数 28,913件※令和7年6月時点

(3) 家庭内家具等の固定の推進 (資料5⑤、⑩参照)

家庭内からの安全な避難のため、市で推進している家庭内の家具固定について、啓発を行うとともに、各家庭で家具等の固定状況の確認をお願いします。

(4) 非常持出品及び災害用備蓄の啓発 (資料5⑧、⑫、⑬、⑮、⑯、⑰参照)

災害発生時の非常持出品及び災害用備蓄についての重要性の周知啓発をお願いします。

(5) 「わたしの避難計画」作成訓練の実施

身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、あらかじめ決めておくことは大切ですので、訓練の実施をご検討ください。

「わたしの避難計画」を作成する訓練を実施する場合は、県のホームページから様式をダウンロードし、ハザードマップを確認しながら作成をお願いします。

わたしの避難計画



で検索をお願いします。

◆訓練当日②（自主連合防災隊・支部単位の訓練）

No.	項目	内容
1	住民の安否確認及び情報伝達の訓練【必須】 【重点項目（１）】	（１）安否状況などのとりまとめ及び報告【自主連合防災隊長】 自主連合防災隊本部（自主連合防災隊長、地域防災指導員など）は、各自主防災隊長から報告された ・自治会安否確認シート〔様式８－４〕（資料３：P 3 参照） ・被害状況報告書〔様式８－２〕（資料３：P 4 参照） ・訓練参加者報告書（資料３：P 5） をとりまとめ、11 時 30 分までに支部へ報告してください。 ※ 自治会安否確認シート〔様式８－４〕のとりまとめが間に合わない場合は、<u>訓練結果報告書提出（提出期限：9 月 12 日（金））と合わせてご提出ください。</u>
2	命を守るための <u>72 時間</u> 以内に 必要な訓練の実施 【重点項目（２）】	人命救助のタイムリミットである発災後から「72 時間」までに必要な避難行動、安否や被害状況の確認・報告、応急救助、避難所開設などの訓練を実施してください。（訓練項目については、資料４：P 5～6 参照）
3	地域の事情に合わせた訓練の実施	津波避難訓練や土砂災害防災訓練など、地域が抱える事情に対する訓練の実施もお願いします。（訓練項目については、資料４：P 1～4 参照）

班単位等による安否確認の流れ

事前準備

- ① 自治会の各班単位で集合場所（一時避難場所）を決めておいてください。
- ② 自治会の各班毎の人数を把握（できる範囲）をしておいてください。

地震発生 震度4以上

- 落ち着いて、自分の身を守る。（机の下に入る。家具やガラス面から離れるなど）

発生直後

揺れがおさまったら

- 火元を確認し、出火していたら初期消火する。
- 家族の安否等を確認する。

班単位の 集合場所へ

- 各地区毎による安否報告（黄色いハガキ等）を実施する。
※自宅を離れる時は、施錠や行き先の表示など
- 班単位の集合場所（一時避難場所）へ全員が避難する。

津波のおそれがある場合

【班単位での活動】

- 安否状況や被害状況の確認（班長等が班員から聞き取り調査を行い取りまとめてください）
※安否状況：「①班別安否確認報告書（様式第8-3号）」に取りまとめてください。
- 各班で取りまとめた安否情報や被害情報を自主防災隊災害対策本部へ報告してください。

【災害発生時の活動】

安否等の確認（①家族は全員無事か。②自宅の被災はあるか。③周辺で火事や家屋倒壊などはないか等）を行ってください。また、一人暮らしの高齢者など、災害時の避難に支援が必要な方がいる場合は、班員が積極的に声を掛け、安否確認を行ってください。

なお、安否不明者がいる場合、火災や家屋倒壊等がある場合など、被害がある場合は、まずは、自主防災隊災害対策本部に救援要請等を行ってください。

※自治会住民は、班内の安否が確認できたら自主防災隊災害対策本部に集まり、自主防災隊員として地区内の災害応急活動（共助）に従事してください。

◆ 安否不明者がいる場合

無事であった住民による捜索活動や、自主防災台帳を活用して、関係先への安否確認等を行ってください。

■ 火災や家屋倒壊等がある場合

自主防災隊本部からの救援を待ちつつ、無事だった住民により、手近な機材を使用し、初期消火・救出救助を行ってください。

報告及び
救援要請

救援に
向かう

避難は津波でんこ！

自主防災隊本部（第一次避難所：公会堂等）

- 各班から報告された安否情報を「②自主防災隊別安否確認報告書（様式第8-4号）」及び被害状況を「被害状況・被害状況報告書（様式第8-2号）」に取りまとめ、市災害対策本部の支部に参集している自主連合防災隊長へ報告してください。
- 自主防災隊で対応しきれない被害が起きた場合などは、市災害対策本部の支部へ救援要請を行ってください。
- 把握した安否情報・被害状況をもとに、集まった人手と自主防災隊の資機材を活用し、捜索・救出・救助、消火活動を実施してください。（自治会内の共助）
- 公会堂等での避難生活が困難となり、市指定避難所に避難が必要になった場合は、市災害対策本部の支部に参集している自主連合防災隊長に連絡し、災害対策本部の支部から開設する市指定避難所の連絡を受けた後に、市指定避難所に避難を開始してください。

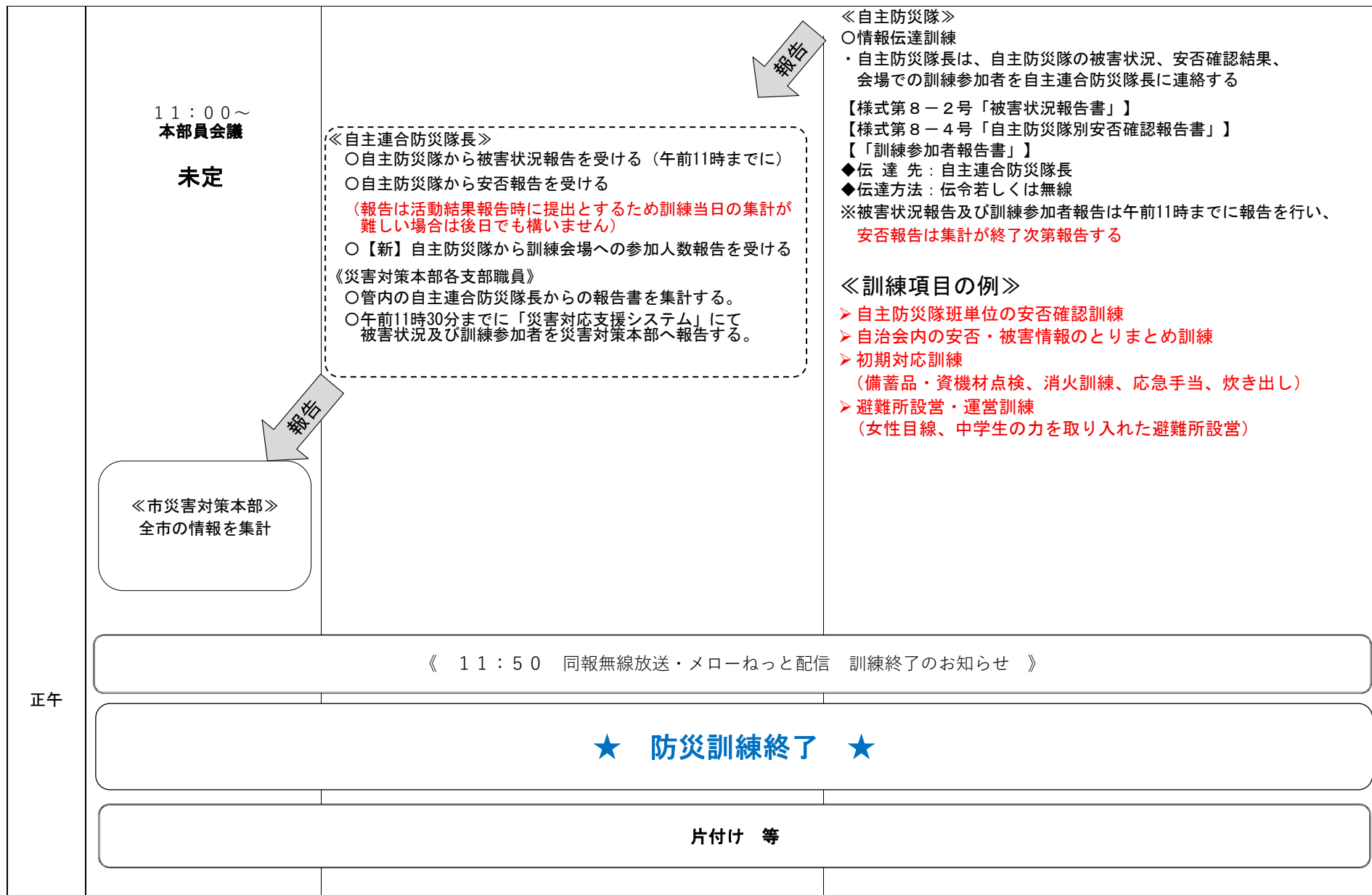
市指定避難所へ避難

市指定避難所（小学校、コミュニティセンター、幼稚園等）

令和7年度 袋井市総合防災訓練 タイムスケジュール（全体）

令和7年7月5日現在

時刻	行 動 内 容			
	袋井市災害対策本部 浅羽支所現地対策本部	災害対策本部 各支部	自主連合防災隊長 地域防災指導員 各自主防災隊からの人員	各自主防災隊（住民） 自主防災隊長
7時30分	《 7：30 同報無線放送・メローねっと配信 訓練実施のお知らせ（中止の場合は中止のお知らせ） 》 7：45 外国語による放送）			
8時30分	《 袋井市職員参集メール配信 》 災害対策本部設置 ※安否情報登録 災害対応支援システム 「開設」「参集情報」入力			
9時00分	★ 地震発生・大津波警報発表 防災訓練開始 ★			
	《 9：00 同報無線放送・メローねっと配信 地震発生及び大津波警報発表 》 （市内全域・サイレン3秒吹鳴・2秒休止×3回＋音声放送）			
	○災害対策本部立ち上げ 8：30～ 本部運営訓練 「職員5割による訓練」 ・地震を想定した災害対応支援システムによる災害情報の処理訓練 ・地震による想定被害に基づき、各班の対応の確認及び本部員会議の実施訓練 ・各支部からの情報伝達訓練 【残り5割の職員】 ・袋井市業務継続計画【BCP】の検討 ・受援計画の検討 ・各班が独自に計画した訓練の実施など	○各支部の立ち上げ ・本部への情報連絡訓練 ・自主連合防災隊長、地域防災指導員、各自主防災隊と合流 自主連合防災隊・支部単位の訓練 各支部（市指定避難所等）において、自主連合防災隊長、支部長を中心に、地域防災対策会議等で協議のうえ、地域で計画し実施する。 ≪訓練項目の例≫ ➤ 自主防災隊班単位の安否確認訓練 ➤ 自治会内の安否・被害情報のとりまとめ訓練 ➤ 初期対応訓練 （備蓄品・資機材点検、消火訓練、応急手当、炊き出し） ➤ 避難所設営・運営訓練 （女性目線、中学生の力を取り入れた避難所設営）	≪自主連合防災隊長≫ ≪地域防災指導員≫ ≪各自主防災隊の方≫ ○災害対策本部の支部に参集 ・支部の市職員と合流	≪自主防災隊長≫ ○自治会公会堂等に「自主防災隊災害対策本部」を開設 ≪各家庭≫ ・身を守る訓練 ・自宅の被害の確認 ・家族の安否確認 ・非常持ち出し品の携行 ○各班の集合場所へ向かう（避難時に危険箇所確認） ≪自治会各班≫ ○班の集合場所に集まる ○班長は、班員の安否確認を行う 【様式第8－3号 「班別安否確認シート」】を作成 ○公会堂等の自主防災隊災害対策本部へ向かう ≪自主防災隊≫ ○公会堂等の自主防災隊災害対策本部に住民が集まる ○自主防災隊長は、各班の安否確認結果を集計する 【様式第8－4号「自主防災隊別安否確認シート」】を作成 ○自主防災隊長は、地区内で起こりうる被害を想定 【様式第8－2号「被害状況報告書」】を作成 ○各自主防災隊での訓練実施※項目については 下段《訓練項目の例》参照



新旧対照表（様式）※令和7年4月12日（土）自主（連合）防災隊長会議資料3-2「別冊様式集」から差替え

- 旧（令和7年6月まで）

（様式第8-1号）

情 報 伝 達	自主防災隊 ⇒ 袋井市災害対策本部の支部
---------	----------------------

市指定避難所への避難者人員報告書

自主防災隊名	自主防災隊	隊長氏名
避 難 者 人 員		内 訳 人 員
合 計		人
〔うち、自力で避難できない人〕		人
〔うち外国人〕		人
		幼 児
		人
		小学生
		人
		中学生
		人
		高校生
		人
		大 人
		人

※この様式は、市指定避難所への避難訓練を実施される場合に、自治会を管轄する支部に、避難希望者の人数を報告するものです。
市指定避難所への避難訓練を行わない場合は、使用しません。

- 新（令和7年7月から）

（様式第8-1号）

情 報 伝 達	自主防災隊 ⇒ 袋井市災害対策本部の支部
---------	----------------------

市指定避難所への避難者人員報告書

自主防災隊名	自主防災隊	隊長氏名
避 難 者 人 員		
合 計		人
世帯数		世帯
特記事項		

※この様式は、市指定避難所への避難訓練を実施される場合に、自治会を管轄する支部に、避難希望者の人数を報告するものです。

新旧対照表（様式）※令和7年4月12日（土）自主（連合）防災隊長会議資料3-2「別冊様式集」から差替え

- 旧（令和7年6月まで）

(様式第8-2号)

被害状況報告書（自主防災隊用）

自主防災隊名			伝達者名			
報告回数	第	回				
伝達時刻	令和	年	月	日	時	分
	(令和	年	月	日	時	分現在)

[illegible]

- 新（令和7年7月から）

(様式第8-2号)

被害状況報告書（自主防災隊用）

自主防災隊名			伝達者名		
報告回数	第	回			
伝達時刻	令和	年	月	日	時 分
	(令和	年	月	日	時 分現在)

[illegible]

新旧対照表（様式）※令和7年4月12日（土）自主（連合）防災隊長会議資料3-2「別冊様式集」から差替え

- 旧（令和7年6月まで）

（様式第8-3-2号）

情報伝達	自治会各班 ⇒ 自主防災隊災害対策本部
------	---------------------

班別安否確認報告書（安否不明等）

自治会名		自治会		班	
安 否 確 認 済 み 人 員	内訳	負傷など	安否不明		
	幼児	人	人	人	
	小学生	人	人	人	
	中学生	人	人	人	
	高校生	人	人	人	
	大人	人	人	人	
	合計	人	人	人	
	うち、自力で避難できない人	人			
	うち、外国人	人			
	集計方法				

各班の集合場所に班員が集まります。集まった班員から本人と家族の安否情報を確認し、人数とその内訳をご記入いただき、速やかに、自主防災隊長に本様式を提出してください。
 班の集合場所に集まった人のみの人数報告ではありません。

- 新（令和7年7月から）

（様式第8-3号）

班別安否確認シート

報告1回目	月	日	時	分現在（24時間以内に報告）	班長 （取りまとめ）	班	枚中	枚目	確認完了
報告2回目	月	日	時	分現在（48時間以内に報告）					
報告3回目	月	日	時	分現在（72時間以内に報告）					

世帯名 （姓）	世帯人数	上段	世帯員（名前）	下段	安否確認結果【「けが」なし：○、「けが」あり：×、不明（）】	全員確認済	自宅被害 （避難を要する損壊）	備考（メモ）
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	
							無・有	

集計欄	世帯人数	人 的 被 害			家 屋 被 害	
		「けが」なし：○	「けが」あり：×	不明（）	有	無
報告1回目						
報告2回目						
報告3回目						

※安否確認結果「けが」あり：×とする場合
 窒息、大量出血、広範囲熱傷、多発外傷、脊椎損傷
 多発骨折、中等度熱傷 など一人でも移動が出来ない場合

新旧対照表（様式）※令和7年4月12日（土）自主（連合）防災隊長会議資料3-2「別冊様式集」から差替え

- 旧（令和7年6月まで）

（様式第8-4-2号）

情報伝達 自主防災隊 ⇒ 袋井市災害対策本部の支部

自主防災隊別安否確認報告書（安否不明等）

自主防災隊名		自主 防災隊	隊長 氏名
安 否 確 認 済 み 人 員	内訳	負傷など	安否不明
	幼児	人	人
	小学生	人	人
	中学生	人	人
	高校生	人	人
	大人	人	人
	合計	人	人
	うち、自力で避難できない人〔 うち、外国人〔	人〕 人〕	
集計方法			
各班から報告される、様式8-3-2号「班別安否確認報告書（安否不明等）」の人数を合計したものを記入して下さい。			

- 新（令和7年7月から）

（様式第8-4号）

自治会安否確認シート

報告1回目	月	日	時	分現在（24時間以内に報告）	自治会長 （とりまとめ）	自治会	救中	救目	確認完了
報告2回目	月	日	時	分現在（48時間以内に報告）					
報告3回目	月	日	時	分現在（72時間以内に報告）					

班名	世帯人数 合計	人数				全員確認済	自宅被害 （避難を要する損壊）		備考
		確認済 （○×合計）	確認済みの内「けがのあり、なし」		不明 （不明者合計）		有	無	
			けが：なし	けが：あり					
1	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
2	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
3	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
4	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
5	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
6	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
7	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
8	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
9	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
10	人	人	人	人	人		世帯	世帯	
合計	人	人	人	人	人		世帯	世帯	

※安否確認結果「けが あり：×」とする場合

窒息、大量出血、広範囲熱傷、多発外傷、脊髄損傷、多発骨折、中等度熱傷 など一人で移動が出来ない場合

新旧対照表（様式）※令和7年4月12日（土）自主（連合）防災隊長会議資料3-2「別冊様式集」から差替え

- 旧（令和7年6月まで）

支部への提出不要

★現在様式見直し中

安否状況集計用メモ

班内世帯 又は 自治会班	総人数 A	班内世帯又は自治会班の安否確認済み人員数						Bの内 自力で避難 できない人	Bの内 外国人	不明者 A-B
		幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計B			
1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
6	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
7	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
8	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
9	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
10	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
11	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
12	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
13	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
14	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
16	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
17	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
18	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
19	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
20	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
21	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
22	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
23	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
24	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
25	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
小 計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

- 新（令和7年7月から）

廃止